

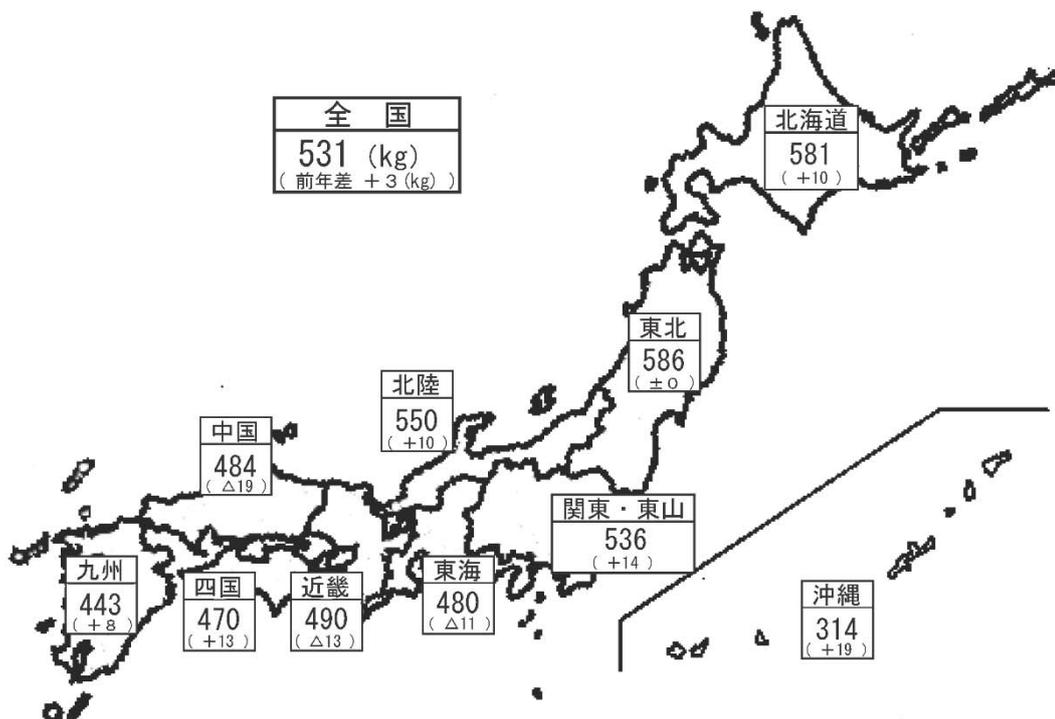
令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量(10月15日現在)

— 予想収穫量(主食用)は722万9,000tの見込み —

【調査結果の概要】

- 1 令和2年産水稻の作付面積(子実用)は146万2,000haで、前年産に比べ7,000ha減少した。うち主食用作付面積は136万6,000haで、前年産に比べ1万3,000ha減少した。
- 2 全国の10a当たり予想収量は531kgで、前年産に比べ3kgの増加が見込まれる。
- 3 以上の結果、予想収穫量(子実用)は776万7,000tで、前年産に比べ5,000tの増加が見込まれる。このうち、主食用の予想収穫量は722万9,000tで、前年産に比べ3万2,000tの減少が見込まれる。
- 4 なお、農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は99となる見込み。

図1 全国農業地域別10a当たり予想収量(10月15日現在)



- 作付面積(子実用)とは、青刈り面積(飼料用米等を含む。)を除いた面積である。
- 主食用作付面積とは、水稻作付面積(青刈り面積を含む。)から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 本調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y4 】

◎ 水稲調査結果の主な利活用

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針及び米穀の需給見通しのための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

◎ 累年データ

水稲（子実用）の年次別推移（全国）

年 産	作 付 面 積 (子 実 用)	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量 (子 実 用)	参 考		
				主 食 用 作 付 面 積	収 穫 量 (主 食 用)	作 況 指 数
	ha	kg	t	ha	t	
平成12年産	1,763,000	537	9,472,000	…	…	104
13	1,700,000	532	9,048,000	…	…	103
14	1,683,000	527	8,876,000	…	…	101
15	1,660,000	469	7,779,000	…	…	90
16	1,697,000	514	8,721,000	…	…	98
17	1,702,000	532	9,062,000	…	…	101
18	1,684,000	507	8,546,000	…	…	96
19	1,669,000	522	8,705,000	…	…	99
20	1,624,000	543	8,815,000	1,596,000	8,658,000	102
21	1,621,000	522	8,466,000	1,592,000	8,309,000	98
22	1,625,000	522	8,478,000	1,580,000	8,239,000	98
23	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	101
24	1,579,000	540	8,519,000	1,524,000	8,210,000	102
25	1,597,000	539	8,603,000	1,522,000	8,182,000	102
26	1,573,000	536	8,435,000	1,474,000	7,882,000	101
27	1,505,000	531	7,986,000	1,406,000	7,442,000	100
28	1,478,000	544	8,042,000	1,381,000	7,496,000	103
29	1,465,000	534	7,822,000	1,370,000	7,306,000	100
30	1,470,000	529	7,780,000	1,386,000	7,327,000	98
令和元	1,469,000	528	7,762,000	1,379,000	7,261,000	99
2 (見込み)	1,462,000	531	7,767,000	1,366,000	7,229,000	99

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。

2 10 a 当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

4 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率であり、平成26年産以前の作況指数は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、平成27年産から令和元年産までの作況指数は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅以上に選別された玄米を基に算出していた。令和2年産以降の作況指数は、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

5 「…」は、調査を欠くことを示している。

水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a 当たり収量及び収穫量（子実用）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合 45%）以上に相当するよう、ふるい目幅 1.70mm 以上で選別された玄米の重量（未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。）としている（21 ページ【参考 1】参照）。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別 10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

表 1 ふるい目幅別重量分布状況の推移（全国）

年 産	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
平成27年産	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	15.3	77.8
28	100.0	0.7	1.2	1.7	2.4	14.0	80.0
29	100.0	0.9	1.5	2.1	2.9	16.1	76.5
30	100.0	0.9	1.6	2.3	3.3	17.6	74.3
令和元	100.0	0.7	1.4	1.9	2.8	15.3	77.9
2 (概数値)	100.0	0.8	1.4	1.9	2.8	14.3	78.8
平均値	100.0	0.8	1.4	2.0	2.8	15.7	77.3
対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.0	△ 0.1	0.0	△ 1.4	1.5

注：平均値は、直近 5 か年の重量割合の平均である。

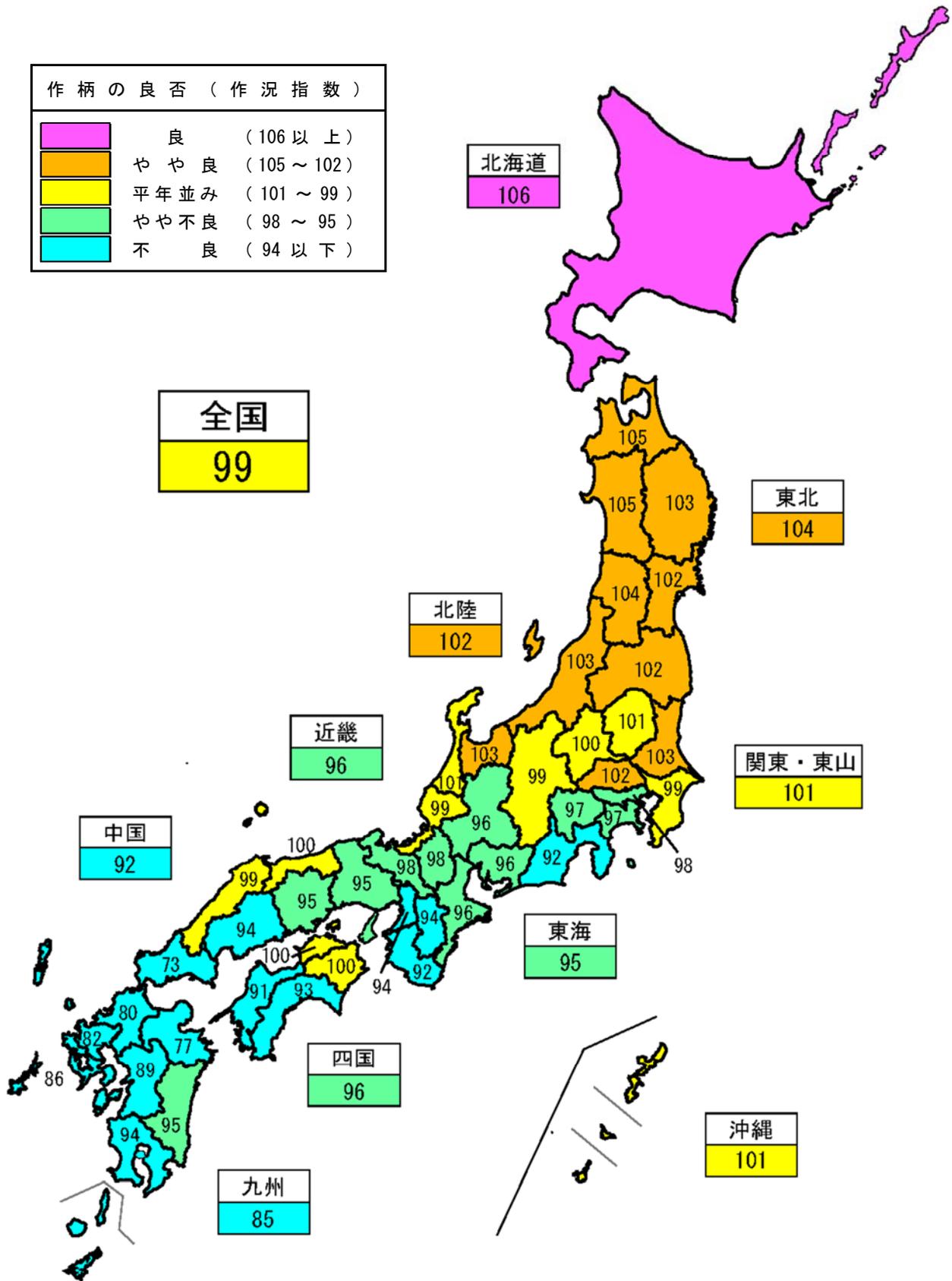
表 2 ふるい目幅別10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の推移（全国）

年 産	単位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上	
		平成27年産	10a 当たり収量	kg	531	527	519	509
	収穫量	t	7,986,000	7,922,000	7,810,000	7,651,000	7,435,000	6,213,000
28	10a 当たり収量	kg	544	540	534	524	511	435
	収穫量	t	8,042,000	7,986,000	7,889,000	7,752,000	7,559,000	6,434,000
29	10a 当たり収量	kg	534	529	521	510	494	409
	収穫量	t	7,822,000	7,752,000	7,634,000	7,470,000	7,243,000	5,984,000
30	10a 当たり収量	kg	529	524	516	504	486	393
	収穫量	t	7,780,000	7,710,000	7,586,000	7,407,000	7,150,000	5,781,000
令和元	10a 当たり収量	kg	528	524	517	507	492	411
	収穫量	t	7,762,000	7,708,000	7,599,000	7,452,000	7,234,000	6,047,000
2 (概数値)	10a 当たり収量	kg	531	527	519	509	494	418
	収穫量	t	7,767,000	7,705,000	7,596,000	7,449,000	7,231,000	6,120,000
	対前年比	%	100	100	100	100	100	101

注：1 ふるい目幅別の10a当たり収量とは、全国の10a当たり予想収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量(子実用)とは、全国の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

図2 全国農業地域・都道府県別作況指数（10月15日現在）



注：1 作況指数は、10a 当たり平年収量に対する 10a 当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去 5 か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

2 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通期栽培を合算したものである。また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の作況指数の算出には、第一期稲の 10a 当たり収量と第二期稲の 10a 当たり平年収量の加重平均を用いた。

【調査結果】

- 1 令和2年産水稻の作付面積（子実用）は146万2,000ha（前年産に比べ7,000ha減少）となった。
また、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は136万6,000ha（前年産に比べ1万3,000haの減少）となった（表3参照）。
- 2 10月15日現在における水稻の全国の10a当たり予想収量は531kg（前年産に比べ3kg増加）が見込まれる。
これは、北海道、東北及び北陸においては、全もみ数が確保され、登熟も順調に推移したことから、作柄が平年を上回った一方、東海以西においては、トビイロウンカの被害、登熟期の日照不足等により登熟が不良となったこと、さらに九州地方では台風の影響もあり作柄が平年を下回ったためである（表3参照）。
- 3 地域別の10a当たり予想収量は、北海道は581kg（前年産に比べ10kg増加）、東北は586kg（同値）、北陸は550kg（同10kg増加）、関東・東山は536kg（同14kg増加）、東海は480kg（同11kg減少）、近畿は490kg（同13kg減少）、中国は484kg（同19kg減少）、四国は470kg（同13kg増加）、九州は443kg（同8kg増加）が見込まれる（表3参照）。
- 4 以上の結果、予想収穫量（子実用）は776万7,000t（前年産に比べ5,000t増加）が見込まれる。このうち、主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は、722万9,000t（前年産に比べ3万2,000t減少）が見込まれる（表3参照）。
- 5 10月15日現在におけるふるい目幅別重量分布状況は、全国平均の1.85mm以上の玄米の重量割合は95.9%と見込まれ、直近5か年平均値に比べ0.1ポイント高くなっている（表4参照）。
- 6 10月15日現在における玄米品位の状況は、全国では、整粒の割合が68.3%と見込まれ、前年産に比べ0.1ポイント低くなっている（表7参照）。

表3 令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

全 国 農 業 地 域	作付面積（子実用）			10a当たり予想収量		予想収穫量（子実用）			参 考		
	実 数 ①	前年産との比較		実 数 ②	前年産 との比較 対 差	実 数 ③=①×②	前年産との比較		主食用 作付面積 ④	予想収穫量 （主食用） ⑤=④×②	作況指数
		対 差	対 比				対 差	対 比			
	ha	ha	%	kg	kg	t	t	%	ha	t	
全 国	1,462,000	△ 7,000	100	531	3	7,767,000	5,000	100	1,366,000	7,229,000	99
北 海 道	102,300	△ 700	99	581	10	594,400	6,300	101	95,300	553,700	106
東 北	381,500	△ 500	100	586	0	2,236,000	△ 3,000	100	342,000	2,000,000	104
北 陸	206,400	△ 100	100	550	10	1,135,000	20,000	102	185,900	1,021,000	102
関東・東山	269,600	△ 1,500	99	536	14	1,444,000	30,000	102	255,800	1,370,000	101
東 海	92,500	△ 600	99	480	△ 11	444,000	△ 13,100	97	89,800	431,500	95
近 畿	101,300	△ 1,300	99	490	△ 13	496,500	△ 19,900	96	97,700	478,500	96
中 国	101,200	△ 900	99	484	△ 19	489,700	△ 23,500	95	98,200	475,700	92
四 国	47,400	△ 900	98	470	13	222,800	2,100	101	46,900	219,900	96
九 州	158,600	△ 1,400	99	443	8	702,100	5,700	101	153,200	676,800	85
沖 縄	650	△ 27	96	314	19	2,040	40	102	630	1,980	101

- 注：1 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 2 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
 3 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
 4 予想収穫量（子実用）及び予想収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
 5 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平均収量の加重平均を用いた。
 6 作況指数は、10a当たり平均収量に対する10a当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

表4 ふるい目幅別重量分布状況（10月15日現在）

単位：%

全国 農業地域	区分	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以上
全 国	重量割合	100.0	0.8	1.4	1.9	2.8	14.3	78.8
	平均値	100.0	0.8	1.4	2.0	2.8	15.7	77.3
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.0	△ 0.1	0.0	△ 1.4	1.5
北 海 道	重量割合	100.0	0.5	0.8	1.1	1.7	9.9	86.0
	平均値	100.0	0.6	1.0	1.2	1.9	11.1	84.2
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 1.2	1.8
東 北	重量割合	100.0	0.4	1.0	1.4	2.3	11.5	83.4
	平均値	100.0	0.6	1.1	1.6	2.4	13.4	80.9
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.1	△ 1.9	2.5
北 陸	重量割合	100.0	0.5	1.0	1.3	2.1	12.0	83.1
	平均値	100.0	0.6	1.2	1.6	2.5	14.4	79.7
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.4	△ 2.4	3.4
関東・東山	重量割合	100.0	0.6	1.0	1.4	2.4	15.8	78.8
	平均値	100.0	1.0	1.5	2.2	3.4	19.9	72.0
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.8	△ 1.0	△ 4.1	6.8
東 海	重量割合	100.0	0.8	1.3	1.9	2.2	11.3	82.5
	平均値	100.0	0.8	1.3	1.9	2.3	12.8	80.9
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 0.1	△ 1.5	1.6
近 畿	重量割合	100.0	1.0	1.8	2.1	3.0	14.0	78.1
	平均値	100.0	0.9	1.5	2.0	2.6	13.8	79.2
	対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.3	0.1	0.4	0.2	△ 1.1
中 国	重量割合	100.0	1.0	1.9	2.5	3.7	16.8	74.1
	平均値	100.0	0.8	1.3	2.0	2.5	13.4	80.0
	対平均差(ポイント)	0.0	0.2	0.6	0.5	1.2	3.4	△ 5.9
四 国	重量割合	100.0	1.4	2.4	3.1	3.9	18.9	70.3
	平均値	100.0	1.0	1.8	2.6	3.5	17.8	73.3
	対平均差(ポイント)	0.0	0.4	0.6	0.5	0.4	1.1	△ 3.0
九 州	重量割合	100.0	2.1	3.8	4.6	7.0	26.9	55.6
	平均値	100.0	1.3	2.4	3.4	4.7	23.1	65.1
	対平均差(ポイント)	0.0	0.8	1.4	1.2	2.3	3.8	△ 9.5

注：1 平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

2 ふるい目幅別重量分布状況は、10月15日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆等のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある（以下同じ。）。

表5 ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）（10月15日現在）

全国 農業地域	区分	単位	1.70mm 以上	1.75mm 以上	1.80mm 以上	1.85mm 以上	1.90mm 以上	2.00mm 以上
			全 国	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	531 7,767,000	527 7,705,000	519 7,596,000
北 海 道	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	581 594,400	578 591,400	573 586,700	567 580,100	557 570,000	500 511,200
東 北	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	586 2,236,000	584 2,227,000	578 2,205,000	570 2,173,000	556 2,122,000	489 1,865,000
北 陸	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	550 1,135,000	547 1,129,000	542 1,118,000	535 1,103,000	523 1,079,000	457 943,200
関東・東山	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	536 1,444,000	533 1,435,000	527 1,421,000	520 1,401,000	507 1,366,000	422 1,138,000
東 海	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	480 444,000	476 440,400	470 434,700	461 426,200	450 416,500	396 366,300
近 畿	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	490 496,500	485 491,500	476 482,600	466 472,200	451 457,300	383 387,800
中 国	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	484 489,700	479 484,800	470 475,500	458 463,300	440 445,100	359 362,900
四 国	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	470 222,800	463 219,700	452 214,300	438 207,400	419 198,700	330 156,600
九 州	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	443 702,100	434 687,400	417 660,700	396 628,400	365 579,200	246 390,400

注：1 ふるい目幅別の10a 当たり収量とは、全国又は全国農業地域別の10a 当たり予想収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、全国又は全国農業地域別の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

表6 令和2年産水稻の作況標本筆の10a 当たり玄米重の分布状況（10月15日現在）

		単位：%									
全 国 農業地域	区 分	計	100kg 未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg 以上
全 国	筆数割合	100.0	0.4	0.7	2.0	8.0	24.3	39.1	21.5	3.8	0.2
	前 年 値	100.0	0.8	0.3	1.3	7.2	26.8	40.2	19.1	4.1	0.2
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.4	0.4	0.7	0.8	△ 2.5	△ 1.1	2.4	△ 0.3	0.0
北 海 道	筆数割合	100.0	-	-	0.2	0.7	12.8	37.2	44.1	5.0	-
	前 年 値	100.0	-	-	0.2	1.6	13.5	47.9	33.3	3.3	0.2
	対前年差(ポイント)	0.0	-	-	0.0	△ 0.9	△ 0.7	△ 10.7	10.8	1.7	△ 0.2
東 北	筆数割合	100.0	-	0.2	0.4	2.4	9.9	37.0	38.4	11.0	0.7
	前 年 値	100.0	0.0	0.1	0.5	1.6	10.0	37.1	38.7	11.2	0.8
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	0.1	△ 0.1	0.8	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.1
北 陸	筆数割合	100.0	0.2	-	0.2	2.4	18.3	50.2	27.1	1.5	0.1
	前 年 値	100.0	0.1	-	1.3	3.9	18.9	50.9	21.9	2.8	0.2
	対前年差(ポイント)	0.0	0.1	-	△ 1.1	△ 1.5	△ 0.6	△ 0.7	5.2	△ 1.3	△ 0.1
関東・東山	筆数割合	100.0	-	0.1	0.7	6.0	20.2	44.7	23.6	4.4	0.3
	前 年 値	100.0	0.1	0.1	0.9	6.1	26.6	41.9	18.2	6.0	0.1
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.2	△ 0.1	△ 6.4	2.8	5.4	△ 1.6	0.2
東 海	筆数割合	100.0	-	0.3	1.3	11.6	35.4	40.9	10.0	0.5	-
	前 年 値	100.0	0.4	0.4	1.4	9.2	33.6	43.1	10.7	1.1	0.1
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.4	△ 0.1	△ 0.1	2.4	1.8	△ 2.2	△ 0.7	△ 0.6	△ 0.1
近 畿	筆数割合	100.0	-	0.5	1.9	8.8	37.5	41.7	9.4	0.2	-
	前 年 値	100.0	-	-	2.1	7.0	32.5	44.9	12.7	0.8	-
	対前年差(ポイント)	0.0	-	0.5	△ 0.2	1.8	5.0	△ 3.2	△ 3.3	△ 0.6	-
中 国	筆数割合	100.0	1.4	1.8	3.5	11.4	29.1	36.1	14.5	2.0	0.2
	前 年 値	100.0	0.2	0.5	1.4	7.6	33.0	42.2	13.1	1.9	0.1
	対前年差(ポイント)	0.0	1.2	1.3	2.1	3.8	△ 3.9	△ 6.1	1.4	0.1	0.1
四 国	筆数割合	100.0	0.3	1.0	3.6	15.6	37.1	33.6	8.0	0.8	-
	前 年 値	100.0	0.3	1.3	2.9	17.3	42.4	30.6	5.0	0.2	-
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	△ 0.3	0.7	△ 1.7	△ 5.3	3.0	3.0	0.6	-
九 州	筆数割合	100.0	1.6	2.2	6.6	17.7	36.9	30.1	4.6	0.3	-
	前 年 値	100.0	4.5	0.8	2.2	15.4	44.2	29.5	3.4	-	-
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 2.9	1.4	4.4	2.3	△ 7.3	0.6	1.2	0.3	-

注：1 10a 当たり玄米重は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 2 10月15日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある。
 3 沖縄については、作況標本筆を設置していないことから、調査結果を表記していない。

図3 令和2年産水稻の作況標本筆の10a 当たり玄米重の分布状況（10月15日現在、全国）

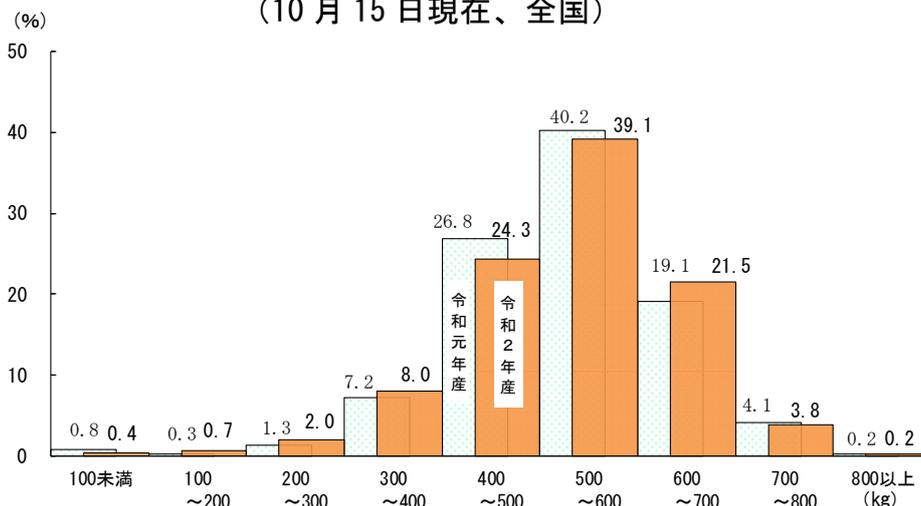


表7 令和2年産水稻の玄米品位の状況（10月15日現在、全国）

		単位：%				
区 分	整 粒	未熟粒	乳白粒・腹白粒	被害粒	死米・着色粒	
重量割合	68.3	25.2	2.9	6.5	0.8	
前 年 値	68.4	24.2	4.2	7.4	0.9	
対前年差(ポイント)	△ 0.1	1.0	△ 1.3	△ 0.9	△ 0.1	

注：10月15日現在までに刈取り・調製が終了した作況基準筆等の刈取試料を穀粒判別器を用いて品位分析したものであり、次回公表において数値が変動することがある。

【統計表】

統計表一覧

ページ

1	令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）	10
2	令和2年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況（10月15日現在）	12
3	令和2年産水稻玄米のふるい目幅別10a当たり収量（10月15日現在）	14
4	令和2年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）（10月15日現在）	15
5	令和2年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（10月15日現在）	16
6	令和2年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月15日現在）	17
7	令和2年産水稻の玄米品位の状況（10月15日現在）	19
8	令和2年産水稻の刈取期及び刈取済面積割合（10月15日現在）	20

利用上の注意

- 1 統計数値については、次表の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原数		7桁以上 (100万)	6桁 (10万)	5桁 (1万)	4桁 (1,000)	3桁以下 (100)
四捨五入する桁数（下から）		3桁	2桁		1桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は次のとおりである。
 - 「0」、「0.0」：増減がないもの
 - 「-」：事実のないもの
 - 「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
 - 「△」：負数又は減少したもの
- 3 この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）」（農林水産省）による旨を記載してください。

1 令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

全 国 都道府県	作付面積（子実用）				10a 当たり 予想収量 ②	（参考）農家等が使用している ふるい目幅で選別			
	実 数 ①	前年産との比較				最も大きい 割合の目幅 ③	10a 当たり 予想収量 ④	10a 当たり 平年収量 ⑤	作況指数 ⑥=④/⑤
		対差	対比	%					
	ha	ha	ha	%	kg	mm	kg	kg	
全 国 (1)	1,462,000	△ 7,000	100		531	...	508	512	99
北 海 道 (2)	102,300	△ 700	99		581	1.90	557	524	106
青 森 (3)	45,200	200	100		628	1.90	600	570	105
岩 手 (4)	50,400	△ 100	100		553	1.90	527	514	103
宮 城 (5)	68,300	△ 100	100		552	1.90	527	515	102
秋 田 (6)	87,600	△ 200	100		602	1.90	566	541	105
山 形 (7)	64,700	200	100		622	1.90	592	568	104
福 島 (8)	65,300	△ 500	99		562	1.85	544	533	102
茨 城 (9)	67,800	△ 500	99		531	1.85	519	505	103
栃 木 (10)	59,200	0	100		538	1.85	520	515	101
群 馬 (11)	15,500	0	100		496	1.80	481	482	100
埼 玉 (12)	31,900	△ 100	100		496	1.80	487	477	102
千 葉 (13)	55,400	△ 600	99		537	1.80	528	534	99
東 京 (14)	124	△ 5	96		400	1.80	394	403	98
神 奈 川 (15)	2,990	△ 50	98		474	1.80	464	477	97
新 潟 (16)	119,500	300	100		558	1.85	542	527	103
富 山 (17)	37,100	△ 100	100		556	1.90	535	519	103
石 川 (18)	24,800	△ 200	99		530	1.85	515	509	101
福 井 (19)	25,100	0	100		518	1.90	482	486	99
山 梨 (20)	4,880	△ 10	100		529	1.80	517	532	97
長 野 (21)	31,800	△ 200	99		606	1.85	590	598	99
岐 阜 (22)	22,500	0	100		470	1.80	459	476	96
静 岡 (23)	15,500	△ 200	99		478	1.80	469	511	92
愛 知 (24)	27,400	△ 100	100		490	1.85	469	491	96
三 重 (25)	27,100	△ 200	99		479	1.85	458	479	96
滋 賀 (26)	31,100	△ 600	98		509	1.90	475	483	98
京 都 (27)	14,300	△ 100	99		501	1.85	484	494	98
大 阪 (28)	4,700	△ 150	97		472	1.80	448	479	94
兵 庫 (29)	36,500	△ 300	99		477	1.85	455	477	95
奈 良 (30)	8,480	△ 10	100		488	1.80	468	500	94
和 歌 山 (31)	6,250	△ 110	98		462	1.80	446	486	92
鳥 取 (32)	12,900	200	102		512	1.85	497	495	100
島 根 (33)	17,100	△ 200	99		511	1.90	476	483	99
岡 山 (34)	29,800	△ 300	99		505	1.85	475	501	95
広 島 (35)	22,600	△ 100	100		499	1.85	475	508	94
山 口 (36)	18,900	△ 400	98		386	1.85	350	481	73
徳 島 (37)	11,000	△ 300	97		476	1.80	464	462	100
早期栽培 (38)	4,260	△ 80	98		453	1.80	443	453	98
普通栽培 (39)	6,710	△ 230	97		492	1.80	478	467	102
香 川 (40)	11,700	△ 300	98		496	1.80	480	478	100
愛 媛 (41)	13,400	△ 200	99		474	1.85	429	469	91
高 知 (42)	11,300	△ 100	99		433	1.80	417	447	93
早期栽培 (43)	6,380	△ 60	99		454	1.80	442	472	94
普通栽培 (44)	4,950	△ 30	99		407	1.80	387	415	93
福 岡 (45)	34,900	△ 100	100		416	1.85	365	459	80
佐 賀 (46)	23,900	△ 200	99		450	1.85	400	488	82
長 崎 (47)	11,100	△ 300	97		422	1.80	397	464	86
熊 本 (48)	33,300	0	100		470	1.85	429	480	89
大 分 (49)	20,200	△ 400	98		403	1.80	369	477	77
宮 崎 (50)	16,000	△ 100	99		475	1.80	457	482	95
早期栽培 (51)	6,140	△ 160	97		469	1.80	459	470	98
普通栽培 (52)	9,870	90	101		479	1.80	457	490	93
鹿 児 島 (53)	19,300	△ 200	99		459	1.80	440	470	94
早期栽培 (54)	4,450	80	102		443	1.80	431	443	97
普通栽培 (55)	14,900	△ 300	98		463	1.80	442	478	92
沖 縄 (56)	650	△ 27	96		314	1.80	303	299	101
第一期稲 (57)	479	△ 27	95		367	1.80	359	351	102
第二期稲 (58)	171	0	100		...	1.80	...	146	...

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。

2 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

3 （参考）農家等が使用しているふるい目幅で選別の④10a 当たり予想収量、⑤10a 当たり平年収量及び⑥作況指数については、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

予想収穫量（子実用）			参 考		
実 数 ⑦=①×②	前年産との比較		主 食 用 作 付 面 積 ⑧	予 想 収 穫 量 （ 主 食 用 ） ⑨=⑧×②	
	対差	対比			
t	t	%	ha	t	
7,767,000	5,000	100	1,366,000	7,229,000	(1)
594,400	6,300	101	95,300	553,700	(2)
283,900	1,700	101	38,300	240,500	(3)
278,700	△ 1,100	100	48,200	266,500	(4)
377,000	100	100	64,500	356,000	(5)
527,400	600	100	75,300	453,300	(6)
402,400	△ 2,000	100	56,500	351,400	(7)
367,000	△ 1,500	100	59,200	332,700	(8)
360,000	15,800	105	65,500	347,800	(9)
318,500	7,100	102	54,900	295,400	(10)
76,900	1,600	102	13,600	67,500	(11)
158,200	4,000	103	30,600	151,800	(12)
297,500	8,500	103	52,500	281,900	(13)
496	△ 23	96	124	496	(14)
14,200	△ 100	99	2,990	14,200	(15)
666,800	20,700	103	106,700	595,400	(16)
206,300	600	100	33,200	184,600	(17)
131,400	△ 1,600	99	22,600	119,800	(18)
130,000	△ 500	100	23,300	120,700	(19)
25,800	△ 700	97	4,800	25,400	(20)
192,700	△ 5,700	97	30,700	186,000	(21)
105,800	△ 2,700	98	21,400	100,600	(22)
74,100	△ 7,100	91	15,400	73,600	(23)
134,300	△ 2,900	98	26,400	129,400	(24)
129,800	△ 400	100	26,700	127,900	(25)
158,300	△ 3,100	98	29,700	151,200	(26)
71,600	△ 1,100	98	13,800	69,100	(27)
22,200	△ 2,100	91	4,700	22,200	(28)
174,100	△ 8,800	95	34,800	166,000	(29)
41,400	△ 2,300	95	8,430	41,100	(30)
28,900	△ 2,500	92	6,250	28,900	(31)
66,000	700	101	12,800	65,500	(32)
87,400	△ 100	100	16,800	85,800	(33)
150,500	△ 5,100	97	28,900	145,900	(34)
112,800	△ 500	100	22,000	109,800	(35)
73,000	△ 18,500	80	17,800	68,700	(36)
52,400	0	100	10,700	50,900	(37)
19,300	△ 500	97	(38)
33,000	400	101	(39)
58,000	1,500	103	11,600	57,500	(40)
63,500	△ 400	99	13,300	63,000	(41)
48,900	1,000	102	11,200	48,500	(42)
29,000	△ 300	99	(43)
20,100	1,400	107	(44)
145,200	△ 13,700	91	34,400	143,100	(45)
107,600	35,800	150	23,400	105,300	(46)
46,800	△ 5,100	90	11,000	46,400	(47)
156,500	△ 4,300	97	32,300	151,800	(48)
81,400	△ 8,200	91	20,000	80,600	(49)
76,000	1,100	101	14,300	67,900	(50)
28,800	△ 100	100	(51)
47,300	1,400	103	(52)
88,600	100	100	17,800	81,700	(53)
19,700	600	103	(54)
69,000	△ 600	99	(55)
2,040	40	102	630	1,980	(56)
1,760	90	105	(57)
...	(58)

4 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県における早期・普通期別等の主食用作付面積は、作期別に備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

5 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

2 令和2年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況（10月15日現在）

全 国 ・ 都道府県	ふるい目幅別重量分布状況						
	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
	%	%	%	%	%	%	%
全 国 (1)	100.0	0.8	1.4	1.9	2.8	14.3	78.8
北 海 道 (2)	100.0	0.5	0.8	1.1	1.7	9.9	86.0
青 森 (3)	100.0	0.5	0.9	1.3	1.8	10.4	85.1
岩 手 (4)	100.0	0.5	0.8	1.4	2.0	9.3	86.0
宮 城 (5)	100.0	0.3	0.9	1.2	2.1	14.0	81.5
秋 田 (6)	100.0	0.4	1.2	1.7	2.7	9.7	84.3
山 形 (7)	100.0	0.4	1.0	1.2	2.3	12.6	82.5
福 島 (8)	100.0	0.4	1.2	1.6	2.5	13.1	81.2
茨 城 (9)	100.0	0.5	0.8	0.9	2.1	14.1	81.6
栃 木 (10)	100.0	0.6	1.0	1.7	2.4	17.3	77.0
群 馬 (11)	…	…	…	…	…	…	…
埼 玉 (12)	100.0	0.7	1.2	1.8	2.9	19.9	73.5
千 葉 (13)	100.0	0.7	0.9	1.5	2.4	15.7	78.8
東 京 (14)	100.0	0.6	1.0	1.6	2.4	15.2	79.2
神 奈 川 (15)	100.0	0.8	1.4	1.7	2.6	15.1	78.4
新 潟 (16)	100.0	0.5	1.0	1.4	2.1	12.4	82.6
富 山 (17)	100.0	0.4	0.7	0.9	1.8	9.9	86.3
石 川 (18)	100.0	0.6	1.0	1.2	1.9	10.6	84.7
福 井 (19)	100.0	0.9	1.4	1.8	2.9	14.5	78.5
山 梨 (20)	100.0	0.9	1.4	1.6	2.8	15.5	77.8
長 野 (21)	100.0	0.5	1.0	1.1	2.1	13.2	82.1
岐 阜 (22)	…	…	…	…	…	…	…
静 岡 (23)	100.0	0.7	1.1	2.0	3.0	16.6	76.6
愛 知 (24)	…	…	…	…	…	…	…
三 重 (25)	100.0	0.9	1.4	2.0	1.7	9.5	84.5
滋 賀 (26)	100.0	0.9	1.5	1.8	2.4	11.4	82.0
京 都 (27)	100.0	0.8	1.1	1.4	2.1	9.9	84.7
大 阪 (28)	100.0	1.7	3.4	5.6	6.8	23.0	59.5
兵 庫 (29)	100.0	0.9	1.8	1.9	3.0	15.6	76.8
奈 良 (30)	100.0	1.3	2.7	3.3	4.4	18.1	70.2
和 歌 山 (31)	100.0	1.2	2.2	2.6	3.1	15.8	75.1
鳥 取 (32)	100.0	0.5	1.2	1.3	2.3	11.2	83.5
島 根 (33)	100.0	0.7	1.3	2.1	2.7	15.0	78.2
岡 山 (34)	…	…	…	…	…	…	…
広 島 (35)	100.0	0.9	1.9	2.1	3.0	14.8	77.3
山 口 (36)	100.0	1.9	3.4	3.9	7.1	24.6	59.1
徳 島 (37)	100.0	0.9	1.7	2.4	2.4	13.8	78.8
早 期 栽 培 (38)	100.0	0.8	1.4	1.8	2.0	11.1	82.9
普 通 栽 培 (39)	100.0	1.0	1.8	2.7	2.7	15.4	76.4
香 川 (40)	100.0	1.3	2.0	2.9	3.7	21.1	69.0
愛 媛 (41)	100.0	1.9	3.5	4.0	5.8	22.3	62.5
高 知 (42)	100.0	1.3	2.3	2.9	3.3	17.3	72.9
早 期 栽 培 (43)	100.0	1.0	1.7	2.2	2.8	16.8	75.5
普 通 栽 培 (44)	100.0	1.7	3.1	3.9	4.1	18.1	69.1
福 岡 (45)	100.0	2.5	4.4	5.4	8.1	26.8	52.8
佐 賀 (46)	…	…	…	…	…	…	…
長 崎 (47)	100.0	1.9	4.0	4.5	8.5	29.7	51.4
熊 本 (48)	100.0	1.8	3.5	3.7	6.1	26.1	58.8
大 分 (49)	100.0	2.9	5.5	6.6	9.9	31.7	43.4
宮 崎 (50)	100.0	1.3	2.4	3.6	4.9	23.1	64.7
早 期 栽 培 (51)	100.0	0.8	1.3	1.5	2.3	14.9	79.2
普 通 栽 培 (52)	100.0	1.6	3.0	4.9	6.5	28.1	55.9
鹿 児 島 (53)	100.0	1.6	2.5	4.1	5.1	24.9	61.8
早 期 栽 培 (54)	100.0	1.0	1.8	3.3	4.6	25.4	63.9
普 通 栽 培 (55)	100.0	1.8	2.7	4.3	5.2	24.7	61.3
沖 縄 (56)	…	…	…	…	…	…	…

注：1 ふるい目幅別重量分布状況は、10月15日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆等のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある（以下同じ。）。

2 10月15日現在で、各都道府県において設置された作況標本筆等のおおむね80%以上でデータが得られた都道府県について調査結果を表章しており、それに満たない都道府県については「…」で示した（以下同じ。）。

対平均差							
1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上		
ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	
0.0	0.0	△ 0.1	0.0	△ 1.4	1.5	(1)	
△ 0.1	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 1.2	1.8	(2)	
△ 0.1	△ 0.1	0.0	0.0	△ 0.3	0.5	(3)	
△ 0.1	△ 0.2	0.0	0.1	△ 2.6	2.8	(4)	
△ 0.4	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.4	△ 1.0	2.5	(5)	
△ 0.2	0.0	△ 0.1	0.4	△ 3.5	3.4	(6)	
△ 0.2	0.0	△ 0.3	△ 0.6	△ 2.3	3.4	(7)	
△ 0.1	△ 0.3	△ 0.3	0.1	△ 0.3	0.9	(8)	
△ 0.4	△ 0.8	△ 0.9	△ 1.2	△ 5.3	8.6	(9)	
△ 0.4	△ 0.5	△ 0.9	△ 1.0	△ 5.5	8.3	(10)	
...	(11)	
△ 0.5	△ 0.8	△ 1.3	△ 1.8	△ 7.0	11.4	(12)	
△ 0.2	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.4	△ 1.8	3.4	(13)	
△ 0.4	△ 0.5	△ 1.1	△ 1.8	△ 3.6	7.4	(14)	
△ 1.0	△ 0.8	△ 1.5	△ 2.6	△ 5.6	11.5	(15)	
△ 0.1	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.5	△ 2.3	3.5	(16)	
△ 0.1	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.6	△ 5.3	6.7	(17)	
0.1	0.2	0.0	0.0	△ 0.9	0.6	(18)	
0.0	△ 0.1	△ 0.1	0.2	0.1	△ 0.1	(19)	
△ 0.2	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.8	△ 1.7	3.3	(20)	
△ 0.2	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.1	0.8	0.1	(21)	
...	(22)	
0.1	0.0	0.2	0.4	1.6	△ 2.3	(23)	
...	(24)	
0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.8	△ 3.7	4.7	(25)	
0.1	0.1	△ 0.1	0.1	△ 1.8	1.6	(26)	
0.1	△ 0.2	△ 0.1	0.2	△ 0.2	0.2	(27)	
0.4	1.3	2.0	2.1	3.2	△ 9.0	(28)	
0.0	0.2	△ 0.1	0.2	0.8	△ 1.1	(29)	
0.5	0.8	1.1	1.3	2.8	△ 6.5	(30)	
0.3	0.7	0.7	0.8	2.6	△ 5.1	(31)	
△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2	0.1	0.5	△ 0.1	(32)	
0.1	0.2	0.4	0.8	3.9	△ 5.4	(33)	
...	(34)	
0.3	0.6	0.5	1.0	2.6	△ 5.0	(35)	
1.0	2.0	1.6	4.3	9.5	△ 18.4	(36)	
0.0	0.2	0.2	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.1	(37)	
0.1	0.1	△ 0.1	△ 0.3	△ 2.1	2.3	(38)	
0.1	0.2	0.3	△ 0.1	0.9	△ 1.4	(39)	
0.1	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.6	△ 2.3	3.5	(40)	
0.7	1.5	1.2	1.7	3.3	△ 8.4	(41)	
0.4	0.9	1.1	0.6	3.6	△ 6.6	(42)	
0.3	0.6	0.9	0.8	5.1	△ 7.7	(43)	
0.5	1.2	1.4	0.5	1.4	△ 5.0	(44)	
1.1	1.6	1.6	3.7	4.1	△ 12.1	(45)	
...	(46)	
0.6	1.3	1.0	3.0	3.7	△ 9.6	(47)	
0.6	1.2	0.7	1.6	3.8	△ 7.9	(48)	
1.2	2.3	2.4	3.1	3.2	△ 12.2	(49)	
0.2	0.6	0.6	0.4	△ 1.0	△ 0.8	(50)	
0.1	0.1	△ 0.1	△ 0.4	△ 3.7	4.0	(51)	
0.3	0.8	1.0	0.9	0.6	△ 3.6	(52)	
0.5	0.5	1.0	0.9	3.1	△ 6.0	(53)	
0.1	0.2	0.5	0.7	2.0	△ 3.5	(54)	
0.7	0.6	1.0	0.9	3.3	△ 6.5	(55)	
...	(56)	

3 対平均差に用いた平均値は、直近5か年の重量割合の平均値である。

3 令和2年産水稻玄米のふるい目幅別10a当たり収量（10月15日現在）

単位：kg

全 国 都道府県						
	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
全 国	531	527	519	509	494	418
北 海 道	581	578	573	567	557	500
青 森	628	625	619	611	600	534
岩 手	553	550	546	538	527	476
宮 城	552	550	545	539	527	450
秋 田	602	600	592	582	566	507
山 形	622	620	613	606	592	513
福 島	562	560	553	544	530	456
茨 城	531	528	524	519	508	433
栃 木	538	535	529	520	507	414
群 馬
埼 玉	496	493	487	478	463	365
千 葉	537	533	528	520	507	423
東 京	400	398	394	387	378	317
神 奈 川	474	470	464	456	443	372
新 潟	558	555	550	542	530	461
富 山	556	554	550	545	535	480
石 川	530	527	522	515	505	449
福 井	518	513	506	497	482	407
山 梨	529	524	517	508	494	412
長 野	606	603	597	590	578	498
岐 阜
静 岡	478	475	469	460	445	366
愛 知
三 重	479	475	468	458	450	405
滋 賀	509	504	497	488	475	417
京 都	501	497	491	484	474	424
大 阪	472	464	448	421	389	281
兵 庫	477	473	464	455	441	366
奈 良	488	482	468	452	431	343
和 歌 山	462	456	446	434	420	347
鳥 取	512	509	503	497	485	428
島 根	511	507	501	490	476	400
岡 山
広 島	499	495	485	475	460	386
山 口	386	379	366	350	323	228
徳 島	476	472	464	452	441	375
早 期 栽 培	453	449	443	435	426	376
普 通 栽 培	492	487	478	465	452	376
香 川	496	490	480	465	447	342
愛 媛	474	465	448	429	402	296
高 知	433	427	417	405	391	316
早 期 栽 培	454	449	442	432	419	343
普 通 栽 培	407	400	387	372	355	281
福 岡	416	406	387	365	331	220
佐 賀
長 崎	422	414	397	378	342	217
熊 本	470	462	445	428	399	276
大 分	403	391	369	343	303	175
宮 崎	475	469	457	440	417	307
早 期 栽 培	469	465	459	452	441	371
普 通 栽 培	479	471	457	433	402	268
鹿 児 島	459	452	440	421	398	284
早 期 栽 培	443	439	431	416	396	283
普 通 栽 培	463	455	442	422	398	284
沖 縄

注：ふるい目幅別10a当たり収量とは、都道府県の10a当たり予想収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

4 令和2年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）（10月15日現在）

単位：t

全 国 都道府県						
	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
全 国	7,767,000	7,705,000	7,596,000	7,449,000	7,231,000	6,120,000
北海道	594,400	591,400	586,700	580,100	570,000	511,200
青森	283,900	282,500	279,900	276,200	271,100	241,600
岩手	278,700	277,300	275,100	271,200	265,600	239,700
宮城	377,000	375,900	372,500	368,000	360,000	307,300
秋田	527,400	525,300	519,000	510,000	495,800	444,600
山形	402,400	400,800	396,800	391,900	382,700	332,000
福島	367,000	365,500	361,100	355,300	346,100	298,000
茨城	360,000	358,200	355,300	352,100	344,500	293,800
栃木	318,500	316,600	313,400	308,000	300,300	245,200
群馬
埼玉	158,200	157,100	155,200	152,300	147,800	116,300
千葉	297,500	295,400	292,700	288,300	281,100	234,400
東京都	496	493	488	480	468	393
神奈川県	14,200	14,100	13,900	13,600	13,300	11,100
新潟	666,800	663,500	656,800	647,500	633,500	550,800
富山	206,300	205,500	204,000	202,200	198,500	178,000
石川	131,400	130,600	129,300	127,700	125,200	111,300
福井	130,000	128,800	127,000	124,700	120,900	102,100
山梨	25,800	25,600	25,200	24,800	24,100	20,100
長野	192,700	191,700	189,800	187,700	183,600	158,200
岐阜
静岡県	74,100	73,600	72,800	71,300	69,100	56,800
愛知県
三重	129,800	128,600	126,800	124,200	122,000	109,700
滋賀	158,300	156,900	154,500	151,700	147,900	129,800
京都	71,600	71,000	70,200	69,200	67,700	60,600
大阪	22,200	21,800	21,100	19,800	18,300	13,200
兵庫県	174,100	172,500	169,400	166,100	160,900	133,700
奈良	41,400	40,900	39,700	38,400	36,600	29,100
和歌山	28,900	28,600	27,900	27,200	26,300	21,700
鳥取	66,000	65,700	64,900	64,000	62,500	55,100
島根	87,400	86,800	85,700	83,800	81,500	68,300
岡山
広島	112,800	111,800	109,600	107,300	103,900	87,200
山口	73,000	71,600	69,100	66,300	61,100	43,100
徳島	52,400	51,900	51,000	49,800	48,500	41,300
早期栽培	19,300	19,100	18,900	18,500	18,100	16,000
普通栽培	33,000	32,700	32,100	31,200	30,300	25,200
香川	58,000	57,200	56,100	54,400	52,300	40,000
愛媛	63,500	62,300	60,100	57,500	53,800	39,700
高知	48,900	48,300	47,100	45,700	44,100	35,600
早期栽培	29,000	28,700	28,200	27,600	26,800	21,900
普通栽培	20,100	19,800	19,100	18,400	17,500	13,900
福岡	145,200	141,600	135,200	127,300	115,600	76,700
佐賀
長崎	46,800	45,900	44,000	41,900	38,000	24,100
熊本	156,500	153,700	148,200	142,400	132,900	92,000
大分	81,400	79,000	74,600	69,200	61,100	35,300
宮崎	76,000	75,000	73,200	70,500	66,700	49,200
早期栽培	28,800	28,600	28,200	27,800	27,100	22,800
普通栽培	47,300	46,500	45,100	42,800	39,700	26,400
鹿児島	88,600	87,200	85,000	81,300	76,800	54,800
早期栽培	19,700	19,500	19,100	18,500	17,600	12,600
普通栽培	69,000	67,800	65,900	62,900	59,300	42,300
沖縄

注：ふるい目幅別収穫量(子実用)とは、都道府県別の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

5 令和2年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（10月15日現在）

単位：%

全 国 都道府県	計	100kg未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg以上
全 国	100.0	0.4	0.7	2.0	8.0	24.3	39.1	21.5	3.8	0.2
北 海 道	100.0	-	-	0.2	0.7	12.8	37.2	44.1	5.0	-
青 森	100.0	-	0.3	0.3	2.4	5.8	23.7	39.9	25.5	2.1
岩 手	100.0	-	0.6	1.5	3.5	13.2	46.5	33.5	1.2	-
宮 城	100.0	-	-	0.3	3.6	13.9	49.8	31.8	0.6	-
秋 田	100.0	-	-	-	1.3	8.1	27.8	50.9	11.9	-
山 形	100.0	-	-	0.3	1.6	5.0	25.0	45.9	20.3	1.9
福 島	100.0	-	-	-	2.0	13.3	49.9	28.0	6.5	0.3
茨 城	100.0	-	-	0.4	3.2	19.6	60.0	16.1	0.7	-
栃 木	100.0	-	-	0.4	2.9	21.4	51.0	21.8	2.5	-
群 馬
埼 玉	100.0	-	-	2.2	12.8	30.0	39.4	15.0	0.6	-
千 葉	100.0	-	0.4	0.4	5.0	19.3	49.5	23.9	1.5	-
東 京
神 奈 川	100.0	-	-	1.7	16.7	36.7	36.5	6.7	1.7	-
新 潟	100.0	0.2	-	0.2	1.6	12.3	48.0	35.0	2.5	0.2
富 山	100.0	0.5	-	0.5	0.9	16.8	44.5	34.5	2.3	-
石 川	100.0	-	-	-	3.2	24.1	53.6	18.6	0.5	-
福 井	100.0	-	-	-	4.8	25.8	56.7	12.7	-	-
山 梨	100.0	-	-	1.4	9.6	20.5	42.5	17.8	8.2	-
長 野	100.0	-	0.4	0.4	2.6	6.9	28.1	44.0	16.1	1.5
岐 阜
静 岡	100.0	-	-	0.6	15.2	38.0	36.7	9.5	-	-
愛 知
三 重	100.0	-	0.9	1.7	12.6	37.8	37.4	8.3	1.3	-
滋 賀	100.0	-	0.5	0.5	5.2	31.0	49.0	13.3	0.5	-
京 都	100.0	-	0.7	2.2	4.4	34.3	46.0	12.4	-	-
大 阪	100.0	-	-	2.0	16.0	38.0	38.0	6.0	-	-
兵 庫	100.0	-	-	1.8	9.7	45.6	37.6	5.3	-	-
奈 良	100.0	-	-	1.2	13.4	32.9	39.1	13.4	-	-
和 歌 山	100.0	-	2.0	5.0	13.0	41.0	33.0	5.0	1.0	-
鳥 取	100.0	-	-	4.0	8.7	23.5	39.0	22.8	2.0	-
島 根	100.0	-	-	0.5	10.3	28.7	45.1	12.3	3.1	-
岡 山
広 島	100.0	0.5	0.5	2.7	12.3	30.0	32.7	17.7	2.7	0.9
山 口	100.0	6.7	7.8	8.3	17.8	30.4	25.6	2.8	0.6	-
徳 島	100.0	-	2.0	3.3	12.0	38.0	34.0	10.7	-	-
香 川	100.0	0.7	-	-	14.0	32.0	38.6	12.0	2.7	-
愛 媛	100.0	-	1.3	4.0	15.3	34.7	36.0	8.0	0.7	-
高 知	100.0	0.6	0.6	6.9	20.6	43.1	26.3	1.9	-	-
福 岡	100.0	3.9	0.8	6.3	23.2	41.4	20.5	3.9	-	-
佐 賀
長 崎	100.0	3.4	6.8	8.1	10.8	37.1	29.7	4.1	-	-
熊 本	100.0	0.4	1.1	8.1	13.0	30.4	39.9	6.7	0.4	-
大 分	100.0	2.3	4.0	11.9	27.3	27.8	21.6	4.0	1.1	-
宮 崎	100.0	0.5	0.5	1.9	14.3	39.9	34.8	7.6	0.5	-
鹿 児 島	100.0	0.6	1.8	4.2	12.7	45.2	34.3	1.2	-	-
沖 縄

注：1 10月15日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある。

2 東京都及び沖縄県については、作況標本筆を設置していないことから「…」で示した。

6 令和2年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月15日現在）

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数		
北海道 (106)	石狩	106	群馬 (100)	中毛	100		
	南空	106		北毛	102		
	北空	107		東毛	99		
	上川	107		埼玉 (102)	東部	102	
	留萌	107			西部	101	
	渡島	102			千葉 (99)	京葉	100
	檜山	102				十九里	99
	後志	103		南房総		97	
	胆振	108					
	日高	108		東京 (98)	-	98	
オホーツク・十勝	107	神奈川 (97)	-		97		
青森 (105)	青森		105		新潟 (103)	岩船	102
	津軽		105			下越北	100
	南部・下北	105	中越南			101	
			東越北			102	
岩手 (103)	北上川上流	103	中魚沼		107		
	北上川下流	102	上越		107		
	東部	104	佐渡		100		
	北部	104	富山 (103)		-	103	
宮城 (102)	南部	102		石川 (101)	加賀	101	
	中部	102			能登	101	
	北東部	102			福井 (99)	嶺北	99
	東部	103	嶺南			100	
秋田 (105)	県北	105	山梨 (97)	-	97		
	県中	104		長野 (99)	東南	97	
	県南	105			中	99	
					北	99	
山形 (104)	村山	104	岐阜 (96)		西濃	96	
	最上	102		中濃	95		
	置賜	103		東濃	98		
	庄内	105		飛騨	99		
福島 (102)	中通り	102	静岡 (92)	東部	90		
	浜通り	103		西部	94		
	会津	102					
茨城 (103)	北部	103					
	鹿行部	104					
	南部	102					
	西部	103					
栃木 (101)	北部	100					
	中部	101					
	南部	104					

注： 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

6 令和2年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月15日現在）（続き）

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	
愛知 (96)	尾張	96	高知 (93)	中東部	93	
	西三河	96		西東部	96	
	東三河	95				
三重 (96)	北勢	96	福岡 (80)	福岡	80	
	中勢	95		北東部	81	
	南勢	93		筑後	78	
	伊賀	97				
滋賀 (98)	湖南	98	佐賀 (82)	佐賀	81	
	湖北	98		松浦	87	
京都 (98)	南部	98	長崎 (86)	南部	92	
	北部	98		北部	78	
大阪 (94)	-	94		熊本 (89)	五島	67
	兵庫	95			壱岐・対馬	81
	県南	97				
奈良 (94)	県北	96	大分 (77)	北部	91	
	-	94		阿蘇	89	
	-	92		天草	87	
和歌山 (92)	-	92	宮崎 (95)	北部	85	
	-	92		北湾	77	
鳥取 (100)	東部	100		鹿児島 (94)	湾岸	67
	西部	100	南部		84	
島根 (99)	出雲	98	沖縄 (101)		日田	88
	石見	99		広域沿海	96	
岡山 (95)	南部	93		薩摩半島	広域霧島	94
	中北部	97			西北山間	93
	北部	90	出水薩摩		95	
広島 (94)	南部	96	伊佐始良	伊佐始良	91	
	北部	96		大隅半島	96	
山口 (73)	東部	83		熊毛・大島	熊毛・大島	95
	西部	67				
	長北	84				
徳島 (100)	北部	102				
	南部	96				
香川 (100)	-	100				
愛媛 (91)	東予	86				
	中予	96				
	南予	94				

注：徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通期栽培を合算したものである。
また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県の作況指数の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

7 令和2年産水稻の玄米品位の状況（10月15日現在）

単位：％

全 国 農業地域	区 分	整 粒	未熟粒	被害粒		
				乳白粒・腹白粒	死米・着色粒	
全 国	重量割合	68.3	25.2	2.9	6.5	0.8
	前年値	68.4	24.2	4.2	7.4	0.9
	対前年差(ポイント)	△ 0.1	1.0	△ 1.3	△ 0.9	△ 0.1
北 海 道	重量割合	69.7	23.0	3.4	7.3	0.5
	前年値	65.2	26.8	4.7	8.1	1.3
	対前年差(ポイント)	4.5	△ 3.8	△ 1.3	△ 0.8	△ 0.8
東 北	重量割合	74.8	21.3	1.4	3.9	0.6
	前年値	74.0	18.4	2.9	7.5	0.5
	対前年差(ポイント)	0.8	2.9	△ 1.5	△ 3.6	0.1
北 陸	重量割合	67.6	24.5	3.1	7.9	0.8
	前年値	64.4	23.8	6.5	11.8	1.0
	対前年差(ポイント)	3.2	0.7	△ 3.4	△ 3.9	△ 0.2
関 東・東 山	重量割合	64.9	25.6	2.1	9.5	0.8
	前年値	70.6	23.7	3.6	5.8	0.7
	対前年差(ポイント)	△ 5.7	1.9	△ 1.5	3.7	0.1
東 海	重量割合	63.3	29.4	2.8	7.3	1.2
	前年値	63.9	29.9	5.2	6.3	1.4
	対前年差(ポイント)	△ 0.6	△ 0.5	△ 2.4	1.0	△ 0.2
近 畿	重量割合	62.4	28.4	5.4	9.2	0.5
	前年値	66.1	26.3	4.4	7.6	0.6
	対前年差(ポイント)	△ 3.7	2.1	1.0	1.6	△ 0.1
中 国	重量割合	69.2	27.4	4.5	3.4	0.5
	前年値	67.6	27.8	5.4	4.7	1.4
	対前年差(ポイント)	1.6	△ 0.4	△ 0.9	△ 1.3	△ 0.9
四 国	重量割合	68.6	28.0	4.9	3.4	0.8
	前年値	64.8	30.8	4.0	4.6	1.8
	対前年差(ポイント)	3.8	△ 2.8	0.9	△ 1.2	△ 1.0
九 州	重量割合	60.6	33.0	5.6	6.4	1.8
	前年値	61.7	32.7	3.5	5.6	1.5
	対前年差(ポイント)	△ 1.1	0.3	2.1	0.8	0.3

注：1 10月15日現在までに刈取り・調製が終了した作況基準筆等の刈取試料を穀粒判別器を用いて品位分析したものであり、次回公表において数値が変動することがある。

2 当該品位分析は、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

なお、前年値は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

3 九州には沖縄県のデータを含む。

8 令和2年産水稻の刈取期及び刈取済面積割合（10月15日現在）

全 国 都道府県	刈 取 期							刈取済面積割合	
	始 期	最盛期	終 期	最盛期の比較		対前年差			
				対前年差	対前年差		%	ポイント	
	月 日	月 日	月 日						
全 国	…	…	…	…	…	…	91	3	
北 海 道	9. 17	9. 27	10. 6	4日早	2日早	99	0		
青 森	9. 21	10. 2	10. 14	2日早	2日遅	96	5		
岩 手	9. 19	10. 3	…	3日早	並 み	89	6		
宮 城	9. 19	9. 29	10. 15	3日早	1日遅	96	2		
秋 田	9. 20	9. 29	10. 12	4日早	1日早	98	4		
山 形	9. 19	9. 30	10. 10	3日早	並 み	99	3		
福 島	9. 27	10. 9	…	1日早	1日遅	73	0		
茨 城	8. 28	9. 13	9. 26	1日早	1日早	100	0		
栃 木	9. 9	9. 22	…	1日早	並 み	94	1		
群 馬	9. 21	…	…	…	…	49	2		
埼 玉	8. 30	9. 25	…	1日早	1日遅	87	2		
千 葉	8. 19	9. 1	9. 17	3日早	4日早	100	0		
東 京	9. 18	10. 4	…	1日早	1日早	89	3		
神 奈 川	9. 10	9. 29	…	3日早	1日早	90	4		
新 潟	9. 5	9. 19	10. 4	2日早	並 み	99	0		
富 山	8. 22	9. 16	10. 2	1日遅	5日遅	99	△ 1		
石 川	8. 25	9. 10	9. 28	1日早	1日早	100	0		
福 井	8. 18	9. 11	10. 1	並 み	並 み	100	0		
山 梨	9. 14	10. 2	…	1日早	1日早	90	5		
長 野	9. 14	9. 29	…	2日早	並 み	93	1		
岐 阜	8. 31	10. 1	…	3日早	1日早	80	3		
静 岡	8. 29	9. 21	…	並 み	並 み	92	3		
愛 知	8. 30	10. 5	…	1日早	1日早	70	0		
三 重	8. 20	9. 4	9. 24	1日遅	1日早	100	0		
滋 賀	9. 4	9. 16	10. 3	2日遅	並 み	100	0		
京 都	9. 4	9. 22	…	3日早	3日早	89	2		
大 阪	9. 12	10. 7	…	7日早	7日早	86	14		
兵 庫	9. 5	9. 29	…	2日早	1日早	90	4		
奈 良	9. 6	10. 11	…	4日早	2日早	68	11		
和 歌 山	8. 23	9. 17	10. 7	2日早	1日早	99	3		
鳥 取	9. 11	9. 28	…	1日遅	2日早	93	△ 2		
島 根	8. 30	9. 17	10. 13	2日早	並 み	98	1		
岡 山	9. 10	10. 6	…	4日早	3日早	68	9		
広 島	9. 5	9. 26	…	1日早	2日早	93	1		
山 口	9. 1	9. 18	10. 14	7日早	5日早	96	3		
徳 島 早期栽培	8. 15	8. 22	9. 7	並 み	3日早	100	0		
普通栽培	8. 23	9. 7	10. 5	3日早	6日早	99	0		
香 川	8. 22	10. 1	…	1日早	1日早	90	5		
愛 媛	8. 20	9. 23	…	1日早	2日早	92	5		
高 知 早期栽培	8. 1	8. 8	8. 22	並 み	2日早	100	0		
普通栽培	9. 15	10. 2	10. 13	6日早	1日早	97	8		
福 岡	9. 6	9. 30	…	5日早	5日早	84	3		
佐 賀	9. 12	10. 9	…	3日早	2日早	68	4		
長 崎	8. 24	10. 12	…	1日早	1日早	68	7		
熊 本	8. 15	10. 8	…	2日早	3日早	64	4		
大 分	9. 18	10. 14	…	5日早	並 み	64	19		
宮 崎 早期栽培	7. 29	8. 3	8. 11	3日遅	2日遅	100	0		
普通栽培	9. 27	10. 12	…	2日早	1日遅	64	6		
鹿 児 島 早期栽培	7. 25	8. 9	8. 26	4日遅	2日遅	100	0		
普通栽培	10. 8	…	…	…	…	48	0		
沖 縄 第一期稲	6. 3	6. 22	7. 15	1日早	並 み	100	0		
第二期稲	…	…	…	…	…	-	-		

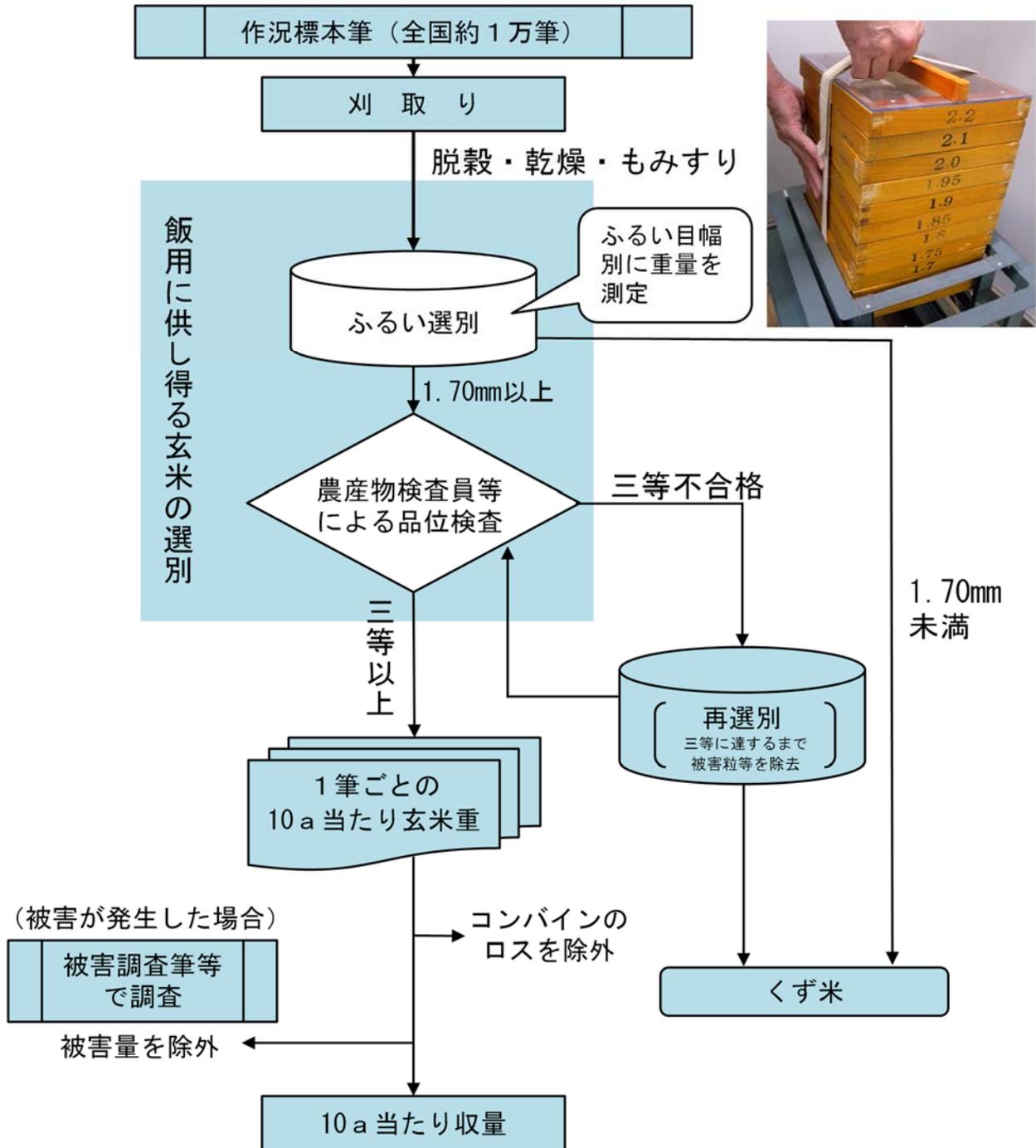
注：1 刈取期の始期、最盛期、終期とは、刈取済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日である。

2 全国の「…」は事実不詳、都道府県の「…」は10月15日現在において、その期日に達していないことを示す。

【参考1】

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考2】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。



【参考2】

作況標本筆^{ふで}とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆と呼ぶ。）^{ふで}は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（全国で約1万筆）調査している。

全国の全ての土地
(母集団)



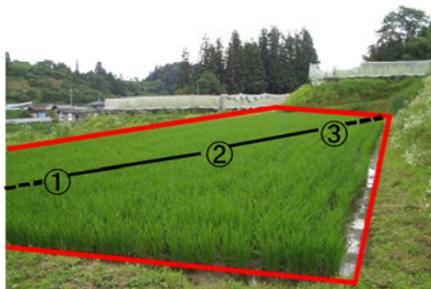
- 1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
(200m四方の土地)



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
(全国で約1万筆)



- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び予想収穫量調査として実施したものであり、水稻の作付面積、作柄状況・予想収穫量等を明らかにすることにより、生産対策、需給見通しの策定、経営安定対策、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

本調査は、全国の各都道府県を対象に実施している。

(2) 調査対象の選定

ア 作付面積調査

水稻の栽培に供された全ての耕地

イ 予想収穫量調査

水稻が栽培されている耕地

(3) 調査対象数

ア 作付面積調査

標本単位区：39,411単位区

イ 予想収穫量調査

作況標本筆：9,902筆、作況基準筆：430筆

3 調査事項

水稻の作付面積、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、被害状況、耕種状況等

4 調査期日

(1) 作付面積調査：令和2年7月15日現在

(2) 予想収穫量調査：令和2年10月15日現在

5 調査・集計方法

(1) 作付面積調査

ア 母集団の編成

空中写真（衛星画像等）に基づき、全国の全ての土地を隙間なく区分した200m四方（北海道にあっては、400m四方）の格子状の区画のうち、耕地が存在する区画を調査のための「単位区」とし、この単位区（区画内に存する耕地の筆（けい畔等で区切られた現況一枚のほ場）について、面積調査用の地理情報システムにより、地目（田又は畑）等の情報が登録されている。）の集まりを母集団（全国約290万単位区）としている。

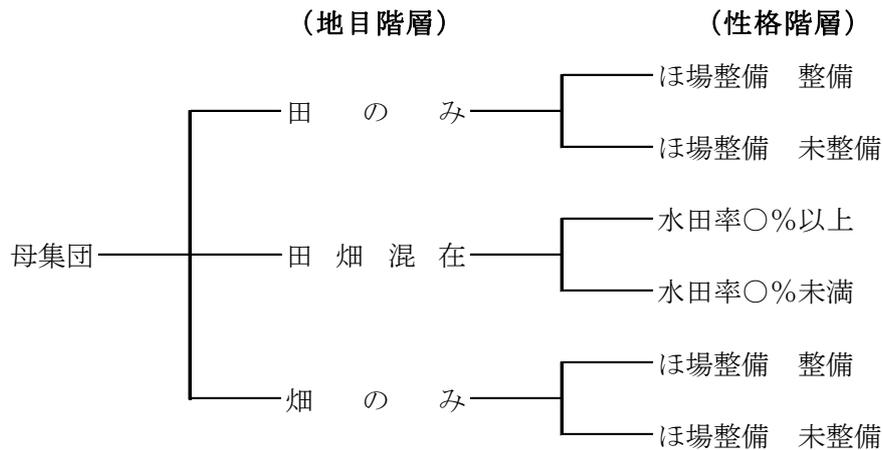
母集団は、ほ場整備、宅地への転用等により生じた現況の変化を反映するため、単位区の情報に補正することにより整備している。

イ 階層分け

調査精度の向上を図るため、母集団を各単位区内の耕地の地目に基づいて地目階層（「田のみ階層」、「田畑混在階層」及び「畑のみ階層」）に分類し、そのそれぞれの地目階層について、ほ場整備の状況、水田率等の指標に

基づいて設定した性格の類似した階層（性格階層）に分類している。

階層分け模式図（例）



ウ 標本配分及び抽出

都道府県別の水稻作付面積が的確に把握できるよう階層ごとに調査対象数を配分し、系統抽出法により抽出する。

エ 実査（対地標本実測調査）

抽出した標本単位区内の水稻が作付けされている全ての筆について、1筆ごとに作付けの状況及びその範囲を確認する。

オ 推定

面積調査用の地理情報システムを使用して求積した「標本単位区の田台帳面積の合計」に対する「実査により得られた標本単位区の現況水稻作付見積り面積の合計」の比率を「母集団（全単位区）田台帳面積の合計」に乘じ、これに台帳補正率（田台帳面積に対する実面積の比率）を乗じることにより、全体の面積を推定している。

$$\text{推定面積} = \frac{\text{標本単位区の現況水稻作付見積り面積合計}}{\text{標本単位区の田台帳面積合計}} \times \text{全単位区の田台帳面積合計} \times \text{台帳補正率}$$

カ その他

遠隔地、離島、市街地等の対地標本実測調査が非効率な地域については、職員による巡回・見積り、情報収集によって把握している。

(2) 予想収穫量調査

ア 母集団

(1)のイにより、「田のみ階層」及び「田畑混在階層」の地目階層に分類される単位区を母集団としている。

イ 階層分け

都道府県別に地域行政上必要な水稻の作柄を表示する区域として、水稻の生産力（地形、気象、栽培品種等）により分割した区域を「作柄表示地帯」として設定し、この作柄表示地帯ごとに収量の高低、年次変動、収量に影響する条件等を指標とした階層分けを行っている。

ウ 標本配分及び抽出

都道府県別の標本数を階層別に水稻の作付面積に10 a 当たり収量の母標準偏差を乗じた積に比例して配分する。

階層別に配分された標本数を単位区の水稲作付面積(田台帳面積)に比例した確率で抽出する確率比例抽出法により標本単位区を抽出する。抽出された標本単位区内で、水稲が作付けされている筆から1筆を無作為に選定し、作況標本筆(実測調査を行う筆)とする。

エ 作況標本筆の実測

作況標本筆の対角線上の3か所を系統抽出法により調査箇所を選定し、株数、穂数、もみ数等の実測調査を行う。

オ 10a 当たり玄米重の算定

(ア) 予想収穫量調査(調査期日において収穫期を迎えていないもの)

刈取りが行われる前に調査を実施するため、穂数、1穂当たりもみ数及び千もみ当たり収量のうち実測可能な項目については実測値、実測が不可能な項目については過去の気象データ、実測データを基に作成した予測式により算定した推定値を用いることとし、これらの数値の積により10a 当たり玄米重を予測する。

(イ) 収穫量調査(調査期日において収穫期を迎えているもの)

各作況標本筆について、一定株数(1㎡分×3か所の株数)の稲を刈り取り、脱穀・乾燥・もみすりを行った後に、飯用に供し得る玄米(農産物規格規程(平成13年2月28日農林水産省告示第244号)に定める三等以上の品位を有し、かつ、粒厚が1.70mm以上であるもの)となるように選別し、10a 当たり玄米重を決定する。

カ 10a 当たり収量の推定

各作況標本筆の10a 当たり玄米重の平均を基に、都道府県別の10a 当たり玄米重平均値を推定し、これにコンバインのロス率(コンバインを使用して収穫する際に発生する収穫ロス)や被害データ等を加味して検討を行い、都道府県別の10a 当たり収量を推定する。

さらに、作況基準筆(10a 当たり収量を巡回・見積りにより把握する際の基準とするものとして有意に選定した筆をいう。)の実測結果及び特異な被害が発生した際に設置する被害調査筆の実測結果を基準とした巡回・見積り並びに情報収集による作柄及び被害の見積りによって推定値を補完する。

キ 収穫量及び被害量

作況標本筆の刈取り調査結果から推定した10a 当たり収量に作付面積を乗じて収穫量を求める。

被害量は、農作物に被害が発生した後、生育段階に合わせて被害の状況を巡回・見積りで把握する。また、特異な被害が発生した場合は、被害調査筆を設置して調査を実施し把握する。

6 実績精度

作付面積調査の対地標本実測調査における水稲作付面積に係る調査結果(全国)の実績精度を標準誤差率(標本誤差の推定値÷推定値×100)により示すと、次のとおりである。

区 分	標準誤差率 (%)
水稲作付面積	0.34

7 用語の解説

- (1) 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WCS用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米等を指す。
- (2) 「作況指数」とは、10a 当たり平年収量に対する10a 当たり予想収量の比率である。

なお、平成26年産以前の作況指数は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、平成27年産から令和元年産までの作況指数は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅以上に選別された玄米を基に算出していた。令和2年産以降の作況指数は、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

令和2年産の作況指数の算出に用いるふるい目幅							
都道府県	農家等 使用目幅	都道府県	農家等 使用目幅	都道府県	農家等 使用目幅	都道府県	農家等 使用目幅
北海道	1.90mm	東京	1.80mm	滋賀	1.90mm	香川	1.80mm
青森	1.90mm	神奈川	1.80mm	京都	1.85mm	愛媛	1.85mm
岩手	1.90mm	新潟	1.85mm	大阪	1.80mm	高知	1.80mm
宮城	1.90mm	富山	1.90mm	兵庫	1.85mm	福岡	1.85mm
秋田	1.90mm	石川	1.85mm	奈良	1.80mm	佐賀	1.85mm
山形	1.90mm	福井	1.90mm	和歌山	1.80mm	長崎	1.80mm
福島	1.85mm	山梨	1.80mm	鳥取	1.85mm	熊本	1.85mm
茨城	1.85mm	長野	1.85mm	島根	1.90mm	大分	1.80mm
栃木	1.85mm	岐阜	1.80mm	岡山	1.85mm	宮崎	1.80mm
群馬	1.80mm	静岡	1.80mm	広島	1.85mm	鹿児島	1.80mm
埼玉	1.80mm	愛知	1.85mm	山口	1.85mm	沖縄	1.80mm
千葉	1.80mm	三重	1.85mm	徳島	1.80mm		

- (3) 「10a 当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢を基に作成したその年に予想される10a 当たり収量をいう。

8 その他

- (1) 本調査（10月15日現在）は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。また、作付面積は、概数値である。
- (2) 本調査についての確定値は、「令和2年産水陸稲の収穫量」として令和2年12月上旬に公表する予定である。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y4 】

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞政策統括官

https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/

お問合せ先

◎本統計調査結果について

- ・作付面積に関すること

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 面積統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3681
（直通）03-6744-2045

FAX： 03-5511-8771

- ・作柄概況に関すること

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3682
（直通）03-3502-5687

FAX： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3589
（直通）03-6744-2037

FAX： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>